

目的及び期待される効果

【目的】 地域スポーツクラブ指導者が学校部活動の地域連携・地域移行を円滑に進めるための学びとネットワーキングの機会を提供する

【期待される効果】

- 部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に向けたパターンやノウハウをスポーツクラブ・スポーツ行政・学校関係者が共有できる
 - 部活動の地域連携のパターンと手順のノウハウを成功例から学び、情報を共有する
 - 中学校部活動の指導に係る諸課題を明らかにし、その対処策を学校関係者・行政担当者と共有する(協力予定:日本学校体育研究連合会)
- 参加者間の情報交換やネットワークの構築

具体的な事業内容

日時 令和6年10月11日(金) 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 参加人数 150人(地域スポーツ関係者、学校関係者等)
 主なプログラム

- 全体講演:「部活動の地域連携や地域クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備 NOW!」、「部活動の地域連携の手順・ノウハウ」
- ワークショップ:「地域連携・地域移行の成功パターン」、「部活動指導に伴う『生徒指導』『保護者対応』『学外引率』『ケガ・事故』」など

【課題】

- 部活動の地域連携・地域移行を成功させる手順・ノウハウ・ステークホルダーを明確にし、多くの人々のつながりが必要。
- 部活動を主体的に担ってきた学校関係者と地域スポーツ関係者のコラボレーション(相互理解)とコミュニケーション(情報共有)が必須。

【プログラムの内容】

- ◎部活動の地域連携の具体的なパターン・手順に関する最新情報の提供[全体講演]
- ◎エリアマネジメントの視点から地域連携の成功パターン・手順についての情報の共有
- ◎中学部活動の現場指導において課題となる事項(例:生徒指導、ケガ・事故、保護者等への対応)の情報の共有
- ◎部活動の地域連携・地域移行への具体的な取組について深掘り・協議

